第 2023-S003 号
2023 年 8 月 7 日

関係者各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部　本部長　田村憲章
競技審判委員会　委員長　中島典子

ビーチフラッグスにおける「胃部（stomach）」の捉え方について

第 48 回全日本ライフセービング選手権大会（本戦）の代表者会議においても本件について触れておりますが、この度の競技規則改訂＜JLA コンペティション・ルールブック　JLA 競技規則 2023 年版（2023.08.07 版）＞の公開に伴い、改めて広く皆さまに共有いたします。

記

■ビーチフラッグスにおける「stomach（胃部）」の捉え方

ビーチフラッグスの規則（第 4 章 10.1）に記載のある「胃部（原文：stomach）」の解釈について疑義があり、以前より調査を進めておりましたが、以下のとおり確認ができましたのでお知らせいたします。

- 国際ライフセービング連盟（ILS）の専門委員会や、2022 年度に開催されたライフセービング世界選手権（Lifesaving World Championships 2022：LWC2022）に参加していたシニアテクニカルオフィシャルに尋ねたところ、「stomach（胃部）」の生物学的な位置は、概ね鳩尾（みぞおち）のやや下であるという認識には齟齬はなかった。
- そのうえで、LWC2022 でのビーチフラッグスのスタートの姿勢における「胃部」は、「鳩尾（みぞおち）のやや下」ではなく「おなか（おへそまわり）」が砂についているかどうかを判断基準としていた（stomach には、ピンポイントで「胃部」を指すこともあれば、「おなか」という意味も含まれる）。

以上に基づき、第 48 回全日本ライフセービング選手権大会（本戦）より、「おなか（お臍まわり）」を基準としてビーチフラッグスを実施しております。

なお、この度の競技規則改訂において英語原文である「stomach」の表記に変更はありませんでしたので、翻訳版においても変更はしておりません。

以上

公益財団法人 日本ライフセービング協会
ライフセービングスポーツ本部
info@jla.gr.jp